

# POWER STROKE™

カスタマーサービス  
米国：1-877-617-3501  
www.powerstroketools.com

## パワーストローク 取扱説明書

2700 PSI 高圧洗浄機  
PS80947J

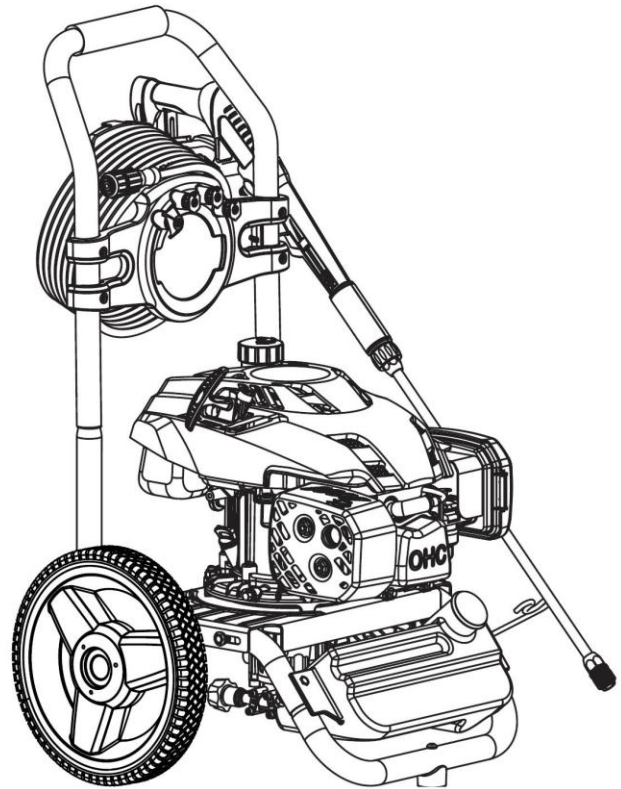
ご購入されたパワーストロークのご登録には、  
<http://register.powerstroketools.com/>  
をご覧ください。

### 通告

本製品では E15 や E85 燃料を使用しない  
ください。



連邦法違反であり、機体装置を損傷し、保証が無効になります。  
エタノール 10% を含む無鉛ガソリンのみを使用してください。



## 目次

■ 安全上のご注意	2
■ 詳細安全規定	3
■ 記号	4-5
■ 製品特性	6
■ 使用工具	6
■ 組立て方	7-8
■ 使い方	9-13
■ メンテナンス	13-16
■ トラブルシューティング	17
■ 保証	18
■ 部品購入/アフターサービス	裏表紙



**警告：**怪我のリスク低減のため、本機をご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読みになり、内容をよくご理解ください。

今後の参考のため、この取扱説明書は大切に保管してください。

## 安全上のご注意



### 危険：

**火災や深刻な火傷の危険：**機械本体が作動中、燃料キャップを取り外さないでください。エンジン停止後は、5分以上本体を冷まします。キャップはゆっくり外して下さい。



### 警告：

**すべての手順をよく読み、内容を理解してください。**

以下の全ての取扱手順を怠ると、死亡や重傷につながる感電、火災、および/または一酸化炭素中毒になる恐れがあります。

**すべての指示をよく読んでください。**




- **機体をよく理解してください。**本書をよくお読みください。おこり得る危険同様、その機体の用途と限界をご理解ください。
- **常に保護具や、防具を用意し、作業手順に備えてください。**決して保護具やカバーを外して機体进行操作しないでください。使用前に機体が正常に作動するかを確認します。
- **調整キーやレンチを取り外します。**機体に電源をオンに入れる前に調整キーとレンチを取り外したかを確認するよう習慣付けてください。
- **損傷のリスクを低減するために、子供や他の人から離れて作業します。**すべての周りの人・見学者は、安全メガネを着用し、作業領域から安全な距離まで離れてください。
- **作業領域を広く確保し、人がいないのを確認してください。**特に小さな子供とペット。
- **締め切った場所や建物、開いた窓の近く、または一酸化炭素ガスが充満しやすい換気がされていないところでエンジンを起動したり操作したりしないでください。**無色、無臭、および非常に危険なガスの一酸化炭素は意識不明または死亡につながる恐れがあります。
- **適切なツールを使用します。**作業用途に適さない工具や付属品を無理やり使用しないでください。
- **作業に適した服装を着用します。**長ズボンと長袖を着用します。ゆったりとした衣服、手袋、ネクタイ、または宝石類を着用しないでください。機械の作動部分に挟まり、巻き込まれる場合があります。屋外での使用の場合にはゴム手袋と滑り止め安全靴が推奨されます。また、長い髪の保護用にヘアカバーを着用してください。
- **裸足、あるいはサンダルまたは類似の軽量靴の場合は機械を作動しないでください。**足を保護し滑りやすい路面での足場を確保する安全靴を着用します。
- **滑ったり転倒したりしないように注意してください。**
- **常にANSI Z87.1規格のサイドシールド付の安全ゴーグルを着用します。**この規則を守ることで大ケガのリスクを低減できます。
- **はしご、屋上、または他の不安定な支柱に無理に伸びたり立ったりしないでください。**常に適切な足場とバランスを保ってください。
- **常に推奨付属品のみをご使用ください。**不適切な付属品は、ケガの原因となります。
- **本取扱説明書で規定されている保守手順に従ってください。**
- **損傷部品を確認してください。**機体を使用する前に、適切に作動し、使用目的に合うようにカバーやその他の部品に損傷がないかを入念に確認してください。可動部の位置、可動部品の結合、部品の破損、取り付けや、操作に影響を与え得るその他の状況を確認してください。ケガの危険を低減するため、破損しているカバーや他の部分は適切に修繕するか、専門の修理サービスで交換してください。
- **機体を使用しない場合に決して電源を入れたまま放置しないでください。**電源を切ってください。完全に停止するまで機体を放置しないでください。
- **火災危険の可能性を低減するため、エンジン部に草、葉、グリース（油）が付いていないか確認してください。**
- **排気管に異物がないよう確認してください。**
- **機械の自動充填、搬出、輸送、および保管に関して製造元の推奨手順に従ってください。**
- **制御機能を十分に理解してください。**機体の停止方法とすばやい圧力抽気方法（ブリード）を理解してください。
- **機体を乾いたきれいな状態に保ち、油やグリースをつけないようにしてください。**清掃するときは、常に清潔な布を使用してください。ブレーキ液、ガソリン、石油系製品、その他の洗浄溶剤でツールを洗浄しないでください。
- **常に注意して制御操作してください。**動作に注意し常識で判断してください。疲れているときにツールを操作しないでください。慌てて操作しないでください。
- **薬物や、アルコール、またはそのほかの薬剤の影響下で機体进行操作しないでください。**
- **各使用前に作業エリアを確認してください。**石、破損ガラス、釘、ワイヤー、または紐などの物質をすべて取り除いてください。これらは吹き飛ばされたり、機械に巻き込まれたりする場合があります。
- **スイッチがオフにならない場合は、機体を使用しないでください。**スイッチは、専門のサービスセンターで交換してください。
- **清掃、修理、または検査をする前には、エンジンを切り、すべての可動部が停止するのを確認してください。**スパークプラグワイヤーを外して、不慮の起動防止のため、スパークプラグから抜いてワイヤーをしまってください。
- **危険な環境を避けてください。**湿った環境では使用しないでください。湿気のある場所や雨にさらされた場所で使用しないでください。作業エリアを常に明るくしてください。
- **周囲に爆発性物質がある場所では絶対に使用しないでください。**普通の火花やモーターの煙霧でも発火する危険性があります。
- **喫煙しながら、あるいは火気の近くで操作しないでください。**周りにドライブラシ、小枝、古着やその他の可燃物があるところで操作しないでください。
- **警告：高圧噴射または負傷の危険**一人に噴射口を向けないでください。

## 詳細安全規定

- 作業の際は高圧洗浄機を注意して配置してください。エンジンからの熱で芝生、草のあたりが変色する場合があります。
- 決して人やペット、また電気装置に噴射口を向けないでください。
- 洗浄作業を開始する前にはドアや窓を閉めてください。洗浄する場所をきれいに整理・整頓し、ゴミ、遊具、屋外用家具、または危険な障害物を取り除いてください。
- エンジン作動中、機体を持ち上げたりを移動したりしないでください。
- 機体のどこかに氷結がある場合は、決して機械をスタートしないでください。
- 本体に酸性洗浄剤、アルカリ性洗浄剤、溶剤、可燃性物質、漂白剤、または工業用洗浄剤を使用しないでください。これらは機体のオペレーターのケガの原因となり、機械本体に回復不可能な損傷を招く場合があります。
- 常に水平位置で機体进行操作してください。もし傾斜上でエンジンをかけた場合、潤滑が不適切なために急に止まる（固着）場合があります（最大潤滑レベルにおいても）
- 警告：高圧ジェットは使用を誤ると危険です。決して噴射口を人、ペット（動物）、電気機器、または機体自体に向けしないでください。
- 両手でしっかりとトリガーガンを持ってください。トリガーガンを引くとその反動でトリガーガンが動くことを想定してください。怠ると制御できなくなりお客様ご自身と周囲の人への損傷を招く場合があります。
- エンジン（モーター）作動中に調整しようとししないでください（製造元推奨の調整の場合は除く）。
- 保護カバーは、エンジン作動中は常に回転部分を保護するようにしてください。
- 冷却用空気取り入れ口（スターターグリップとロープの領域）、エンジンのマフラー側を、建物、障害物、およびその他の可燃物から少なくとも 3 フィート（約 90cm）以上離してください。
- 可燃物やその他の有害物質にエンジンを近づけないでください。
- 高温箇所を避けてください。マフラーや他のエンジン部分は非常に高温になります。注意してください。
- エンジンを起動し、作動中は、スパークプラグと点火ケーブルに触れないでください。
- 使用前に燃料ホースや接続部分に緩みや燃料漏れがないかを確認してください。
- 使用前にボルトとナットが緩んでいないかを確認してください。1 つの緩んだボルトやナットが深刻なエンジントラブル招く場合があります。
- 常に屋外で燃料補給してください。決して屋内や換気が不十分な場所で燃料補給しないでください。
- 決して熱水、暖房器具、衣類、乾燥機などの発火源がある屋内に燃料タンク内に燃料が残ったまま収納しないでください。
- 燃料タンクから燃料を抜き、空にする必要がある場合には、屋外でこれを行ってください。ガソリン用容器に移し替え、全ての発火源を避けて保管してください。
- 火災や熱傷の危険性を低減するため、燃料は注意して処理してください。非常に可燃性が高いです。
- 燃料の処理中に喫煙しないでください。
- エンジンを起動する前に燃料を補給してください。エンジン作動中、あるいはまだエンジンが熱いときに燃料タンクのキャップを外したり、燃料を補給したりしないでください。
- ゆっくりと燃料キャップを緩めて圧力を抜いてください。その際、キャップの周りに燃料が漏れ出ないように注意してください。
- すべての燃料タンクや容器のキャップを安全に付けて閉めてください。
- 機体からこぼれた燃料を拭いてください。エンジンをかける前に 燃料補給した場所から 30 フィート（約 9m）以上離れてください。
- 燃料がこぼれ出た場合は、決してエンジンを始動しようにせず、漏れ出た場所から本体を移動し、燃料蒸気が完全に揮散するまで発火源とならないように注意してください。
- いかなる状況でもこぼれ出た燃料を燃焼しようとししないでください。
- 高圧洗浄機本体を収納する前に、30 分間以上冷却し、燃料を抜いてください。
- 涼しい、換気の良い場所に保管してください。火花および/または発火装置から離れた安全な場所に保管してください。
- 燃料は燃料保存用の容器で保管してください。
- 車両運搬する前は燃料タンクを空にして、動かさないようにしてください。
- 修理の際には、推奨または同等の交換部品を使用してください。それ以外を使用した場合には、危険または製品への損傷を引き起こす可能性があります。
- 冷水のみを使用してください。
- 可燃性物質から 3 フィート（約 90cm）以上離すようにしてください。
- 表面を傷つけるほど洗浄表面に近づけてスプレーしないでください。
- エンジンを停止した後、必ずトリガーガンのトリガーを引いて高圧ホースの残留圧力を抜いてください。怠ると、大ケガの原因となります。
- 機体を使用する前に、高圧ホースが正しく接続されていることを確認してください。
- 屋外でのみ使用してください。
- 本取扱説明書を大切に保管してください。絶えず参照し、他の使用者に使用方法を説明する際にもご使用ください。他の方に本機をお貸しになる際にはこれらの取扱説明書も一緒に添えてお貸しください。

## 記号

次の表示記号や意味は、本機に関連した危険度の説明を目的としています。





絵表示・記号	表示	意味
	<b>危険</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う切迫した危険な状態を示している。
	<b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定されている内容を示している。
	<b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると軽傷または中程度の損傷を負う可能性が想定されている内容を示している。
	<b>通告</b>	[警告マーク表示なし] 物的損害をもたらす可能性のある状況など、損傷の危険性とは関連しない重要な情報を示している。

以下の記号は本機に使用されています。本機の安全な取扱いのため、よく確認し内容を理解してください。

絵表示	名称	説明
	安全警告	身体的な損傷を負う可能性の状態を示している。
	取扱説明書を確認	損傷のリスクを低減するために、本機を使用する前に必ず、この取扱説明書を読んで内容を理解することを示している。
	目の保護	常に、ANSI Z87.1 規格のサイドシールド付きの安全ゴーグルを着用してください。
	濡れた状態警告	雨にさらしたり、湿気の多い場所で使用したりしないでください。
	高温面	傷害または損傷のリスクを低減するため、いかなる高温表面に接触しないでください。
	高圧噴射の危険	高圧噴射または損傷の危険性の低減のため、決して人やペット噴射口を向けないでください。または身体のどの部分も噴射水にあてないでください。漏れているホースや継手も高圧噴射を引き起こす場合があります。ホースや継手を持たないでください
	爆発の危険性	可燃性の液体をスプレーしないでください。可燃性液体燃料、およびその蒸気に爆発性があり、重度の火傷や死亡につながる恐れがあります。
	火災危険	燃料とその蒸気はきわめて可燃性および爆発性が高いものです。火災や重度の火傷や死亡につながる恐れがあります。

## 記号

以下の記号のいくつかは本機に使用されています。本機を安全に使用いただくため、よく確認しその意味を理解してください。

絵表示	名称	意味
	有毒ガス	ガス生成物は、無色、無臭で有毒ガスの一酸化炭素、発生します。一酸化炭素を吸うと吐き気、失神、または死につながる可能性があります。
	反動(跳ね返り)	跳ね返りからの損傷を低減するために、本機の電源がオンのときには、スプレー管を両手でしっかり持ってください。
	感電	乾いた状態で使用せず、また安全使用を怠ると感電の原因となります。
	薬品による火傷	損傷や破損のリスクを低減するため、本機に酸性洗剤、アルカリ性洗剤、漂白剤、溶剤、可燃物、または工業用グレード剤を使用しないでください。

## 製品特性

### 製品仕様

燃料タンク容量.....	1.2L (0.31gal)
最大吐出圧力* .....	18.9Mpa (2,700 psi)
最大吐出水量* .....	522L/h
最大給水温度.....	40°C (104°F)

\*PWMA 標準 101 による最大定格

### 高圧洗浄機の特性を理解

図 1 を参照。

本機を安全にご使用頂くためには、使用ツールについての情報、洗浄作業対象及び本取扱説明書の内容をよくご理解ください。本機をご使用になる前に、本機の機能特性や安全上の注意事項をよくご理解ください。

### 自動洗剤注入システム

高圧洗浄機用洗剤を洗剤タンクに注入し、洗剤が早く簡単に洗浄用途に馴染むようにします。ソープノズルを使用すると 20 対 1 の希釈率で洗剤が注入されるようになります。

### 燃料タンク

本機の燃料タンクの最大容量は 1.2L です。エンジンには自動車用無鉛ガソリンを使用します。

### ホースの収納

高圧ホースを巻き終わったら、ストレッチストラップを使って機体背面の上をしっかり固定して掛けます。

### 電源スイッチ

オン/オフ切換えスイッチは、スターターグリップとロープを組み合わせてエンジンを起動する際に使用します。また、エンジンを切る場合にも使用します。

### ソープノズル

青色ソープノズルは低圧のみで洗剤を含ませるときに使用します。

### スターターグリップとロープ

スターターグリップとロープを引っ張り、本体を起動します。

### 熱安全弁

本機のポンプ機能は、ゴムホースから少量の水を流すことで、水温が有害なレベルに達するまで上昇するのを防ぎます。排水されて抜けると、熱安全弁は自動的にリセットされます。

### トリガーガン

トリガーガンのにぎり面で、スプレー管をコントロールしやすくし、疲れないようにします。

### トリガーのロック機能

トリガーガンを引っ張ると高圧洗浄用の水流が出ます。ロック機能で不用意な操作を回避できます。

## 使用工具

以下の工具は、(本機には含まれない、または縮小率表示) 本機の組立てに必要です。

図 1a を参照。

- コンビネーションレンチ

## 組み立て方

### 開梱

本機は組み立てが必要です。

- 注意して製品および付属品を箱から取り出します。梱包リストに記載されているすべての項目アイテム(付属品)がそろっていることをご確認ください。

注：本機体は重いです。腰を痛めないように、腰ではなく足の力を利用して持ち上げます。必要に応じて助けを借りてください。



#### 警告：

開梱した時に梱包リスト付属品の一部がすでに本機に組み込まれている場合は、その製品を使用しないでください。梱包リストの部品は製造時には本機には組み込まれていません。お客様自身による取り付けを必要としています。不適切な組み立てがされている可能性があり、大ケガにつながる可能性があります。

- 破損や損傷が輸送中に発生していないことを確認するために慎重にツールを検査します。
- 十分に確認し、満足がいくようにツールの取り扱いができるまでは梱包材は捨てないでください。
- 部品が破損または不足している場合は、お電話にてお問い合わせください：北米 1-877-617-3501

### 梱包リスト

高圧洗浄機本体  
25 フィートの高圧ホース  
トリガーガン  
スプレー管  
ワンタッチ接続ノズル (4本)  
4サイクル用エンジンオイル (SAE 30またはSAE 10W30)  
使い捨て漏斗  
ハンドル  
取扱説明書



#### 警告：

部品が破損または不足している場合は、部品を取り替えるまでこの機体を操作しないでください。  
部品が破損または不足している製品の使用は大ケガにつながる場合があります。



#### 警告：

本機を改造または、推奨されていない付属品アクセサリーを作成しないでください。このような変更または改造は誤用であり、大ケガにつながる危険な状態になる可能性があります。



#### 警告：

ケガの原因となる偶発的起動を防ぐため、取り付けの際には常にエンジンスパークプラグワイヤーをスパークプラグから抜いてください。

### ハンドルを取り付ける

図2を参照。



#### 注意：

フレームにハンドルを取り付ける際には手や指をはさまないように注意してください。

- ハンドルをフレームの穴にスライドさせながら入れハンドルのボタンを押して、止めます。

注：使用する前に、ロックスロットを通してロックボタンがカチッと音がするまでハンドルを引き上げて固定します。

### スプレー管をトリガーガンに取付ける

図3を参照。

- スプレー管のねじ端をトリガーガン端のコネクタと取り付けます。しっかりと締め付けます。

注：クロススレディング（ねじ山の縦傷）しないように注意してください。使用中にトリガーガンからの漏出の原因となります。

- コネクタを止まるまで時計回りに回します。これでスプレー管がしっかりと締め付け固定されます。

### 高圧ホースをトリガーガンに取付ける。

図4を参照。

- トリガーガンの接続口に高圧ホースの先端をさし込み、高圧ホースのカラーを時計回りに回して、しっかりと締め付け固定します。

注：クロススレディング（ねじ山の縦傷）をしないように注意してください。使用中にトリガーガンからの漏出を引き起す場合があります。

- ホースを引っ張り、しっかりと固定接続されているかを確認します。

### 高圧ホースをポンプに取付ける。

図5を参照。

- よじれがないように高圧ホースをまっすぐに伸ばします。

注：高圧ホースを使用方法的詳細については 本説明書の“使い方：高圧ホースの使い方”のページを参照ください

- ホースのカラーをポンプの出水口に合わせます
- 高圧ホースのカラーを出水口に差し込みます。

## 組み立て方

- カラーを時計回りにまわしポンプにしっかり締め付けます。

注：クロススレディング（ねじ山の縦傷）をしないように注意してください。使用中のホースからの漏れの原因となります。

- ホースを引っ張り、しっかりと固定接続されているかを確認します。

### 水道ホースを高圧洗浄機に取付ける

図6を参照。



#### 注意：

ホースを取付ける際には、必ず居住地域の規則を遵守してください。一部の地域では、化学物質の飲料水へのフィードバックを防止するために公共飲料水である水道本管にホースを直接接続することを規制している場合があります。水受けタンクや逆流防止器への直接接続は、通常は許可されています。

給水本管からの水を使用します。**決して熱水またはプールや湖などの水を使用しないでください。**高圧洗浄機に水道ホースを取付ける前に：

- 水を30秒間ホースに流して、ゴミや汚れを取り除きます。

- 取水口フィルターを点検してください。
- フィルターが破損している場合は、そのフィルターを取り換えるまで機体を使用しないでください
- フィルターが汚れている場合は、水道ホースを機体に取付ける前にきれいに拭いてください。

#### 水道ホースを機体に接続するには：

- よじれがないようにホースをまっすぐ伸ばすか、完全にホースリールから取り外します。

注：高圧洗浄接続口とホース蛇口、あるいは遮断弁（Y字遮断コネクタなど）の間には最低10フィート（3m）のホースを確保し、自由に動かせるようにします。

- ホース蛇口を完全に閉めて、水道ホースの端を給水口に取り付けます。手で締めます。

#### 注意：

給水せずに高圧洗浄を行わないでください。これは高圧シールに損傷を与え、ポンプ寿命を低下させます。完全にリールやまかれた状態からほどき、水量制限や流水の妨げとなるようなタイヤ、岩、または他の障害物に接触していないかを確認してください

## 機体を傾けすぎないでください！





## 使い方



### 警告：

不注意につながるようなツールの理解をしないでください。ほんの一瞬の不注意が十分重傷を招くことを忘れないでください。



### 警告：

常にANSI Z87.1規格のサイドシールド付の安全ゴーグルを着用してください。これを怠ると、なにかの物質が目の中に入り大ケガを招く恐れがあります。



### 警告：

本機の製造元が推奨していない取り付け具や付属品を使用しないでください。非推奨の取り付け具や付属品を使用すると、大ケガを招く恐れがあります。



### 警告：

決して人やペット、電気機器に噴射口を向けないでください。怠ると、重傷、感電、または死亡の原因となります。

### 注意：

本機にはスパーク（火花）防止装置が装備されていませんので、米国内の森林地区では使用することはできません。加えて、本機の使用、連邦法、州法並びに居住地域の火災予防条例を遵守しなければなりません。適切な関連機関にお問い合わせください。メンテナンスや交換部品に関しては付属のエンジンマニュアルをご参照ください。

### 注意：

各使用前に、本機全体を検査し、破損、不足またはねじ、ナット、ボルト、キャップなどに緩みがないかを確認してください。すべての留め具とキャップをしっかりと締めて、不足部品や破損箇所が補充、交換されるまで、本機を操作しないでください。弊社カスタマーサービスもしくは専門のサービスセンターにご相談ください。

### 用途：

本体は家の周りの大小の水平または垂直外面の洗浄に使用できます。小さい外装や構造物、室外機材や器具等\*の洗浄にご使用できます。

本体は：

- ベランダ、車道、パティオ(中庭)、通路、歩道などからカビやカビ跡を洗浄、除去することができます。
- 家の外装、羽目板、フェンス、レンガ、コンクリートや石壁など様々な外部垂直面の汚れを除去できます。

- ボート、屋外用家具、電源または非電源付庭設備、排水溝、窓網戸、グリル、遊園具等が洗浄できます。

\* 最初は常に目立たない場所で試してください。

### エンジンオイルの補充 / 点検をする

図7を参照。

注：本機は出荷前の動作テスト時に約2オンス(約59ml)のエンジンオイルが入っています。初めての起動前に、エンジンオイルを補充してください。

### 注意：

エンジンオイルを補充せずにエンジンをかけるとエンジン不良の原因になります。

### エンジンオイルを補充するには：

- 平らで水平な面に高圧洗浄機を置いてください。傾けないでください。
- オイルキャップ/オイルゲージを反時計回りに回して外します。
- 最初の使用前に、付属のエンジンオイルの中身を全部オイル貯留槽へ注入します。  
最初の使用後に、4ストロークエンジンオイル(SAE 30またはSAE 10W30)を補充し、流体レベルがオイルゲージの斜線部まで上がるまで入れます。入れすぎないでください。
- オイルキャップ/オイルゲージを取り付け、しっかりと締めます。

### エンジンオイルレベルを確認するには：

- 平らで水平な面に高圧洗浄機を置いてください。傾けないでください。
- 反時計回りに回してオイルキャップ/オイルゲージを外します。
- オイルゲージをきれいに拭き穴に再び戻し入れます；切り直さないでください
- 再びオイルゲージをとり外し、オイルレベルを確認します。オイルレベルは、オイルゲージの斜線以下であるところを確認します。
- レベル以下の場合には、流体レベルが斜線部分に上がるまでエンジンオイルを足してください。
- オイルキャップ/オイルゲージをもどして固定します。

### 注意：

入れすぎないでください。クランクケースを過剰補充すると、過剰発煙とエンジン損傷の原因となります。

### 含酸素燃料

### 注意：

本製品ではE15やE85燃料を使用しないでください。連邦法違反であり、機械本体の破損を招き製品の保証が無効となります。エタノール10%を含む無鉛ガソリンのみを使用してください。

## 使い方

既述の割合以上の含酸素燃料の使用に起因する燃料システムの損害や性能問題は保証の対象外となります。

### 燃料タンクにガソリンを補給する。

図8を参照。



#### 危険：

**火災や深刻なやけどの危険：**決して本体ユニットが作動中に燃料キャップを取り外さないでください。エンジンを切り5分以上冷まします。キャップはゆっくり外して下さい。



#### 警告：

ガソリン及びその蒸気は引火性と爆発性が高い成分です。重大な損傷や物的損害を防止するため、注意してガソリンを取り扱ってください。発火源を避けてください。屋外のみで取り扱ってください。燃料補給中は喫煙しないでください。こぼれた液はすぐに拭き取ってください。



#### 警告：

補給前には必ず、エンジンを停止してください。エンジン作動中、あるいはまだ熱い場合には決して燃料キャップを取り外したり、燃料補給したりしないでください。本体ユニットは常に平らで、水平面上に置くようにし、補給は屋外のみで行います。エンジンが高温の状態であれば、燃料を追加する前に5分以上冷ましてください。補給後は、すぐに燃料キャップを取り付けてしっかり締めます。補給した場所から30フィート(約9m)以上離れてからエンジンを始動します。喫煙はしないでください、広がる炎や火花から離れてください。これらを怠ると、火災の原因となり大ケガをまねく恐れがあります。



#### 警告：

燃料漏れがないか確認してください。漏れた燃料キャップ、タンク、またはラインは火災の原因となるため、すぐに交換してください。燃料漏れがあった場合には、機体を使用する前に適切に処理してください。これらを怠ると、火災の原因となり大ケガをまねく恐れがあります。

**注：**これは、4サイクルエンジンです。絶対に燃料と潤滑油を混ぜないでください。

- 燃料安定剤メーカーの手順に従い燃料安定剤をガソリンに混ぜます。
- 燃料キャップを取り外す前に、周辺をきれいに片づけます。燃料キャップを外します。
- 燃料タンクにきれいな漏斗を挿入し、ゆっくりとタンクにガソリンを注入します。タンクネックの最上部の下約1-1/2まで注入します。(これにより燃料膨張を促します)
- 燃料キャップを戻し、「カチッ」と音がするまでしっかり締めます。
- エンジンを始動する前に、こぼれた液をきれいに拭き取ります。

### ポンプ潤滑油

高压洗浄機のポンプは製造工場において十分な潤滑油が充填されています。お客様が確認や補給する必要はありません。

### 高压洗浄機の起動と停止

図9~11を参照。

#### 注意：

給水せずに高压洗浄を行わないでください。これは高压シールに損傷を与え、ポンプ寿命を低下させます。完全にホースリールやまかれた状態からほどき、水量制限や流水の妨げとなるようなタイヤ、岩、または他の障害物に接触していないかを確認してください。

#### エンジンを始動する前に：

- すべてのホースを接続します。  
**注：**水道ホースに接続する前に高压洗浄機本体の給水口フィルターが付いているか、目詰まりがないかを確認してください。
- 全ての流体物(潤滑油とガソリン)を確認してください。
- 水道ホースの蛇口を開け、そしてトリガーを握り、空気を抜きます。水が安定して出るようになるまでトリガーを握ります。  
**注：**蛇口が全開になっているか、ホースにはねじれや漏れがないかを確認してください。

#### エンジンを始動するには：

- 燃料弁をOPEN(開)位置に回します。
- オン/オフ切り替えスイッチをON (I)位置に入れます。
- チョークレバーをStart(開始)位置へ引きます。  
**注：**短時間の停止後に再起動する際には(例：給油後や移動後)チョークレバーをそのままRUN(運転)の位置で止めます。
- スターターグリップとロープを握り、抵抗を感じるまでゆっくり引っ張ります。スターターグリップとロープを短く、グイッと勢いよくとよく引っ張り、エンジンを始動します。  
**注：**スターターグリップとロープグリップが起動後に跳ね返らないように注意し、元の場所にそっと戻します。
- エンジンを数秒間作動させ、チョークレバーをRUN(運転)の位置へ押しします。

#### 注意：

本体使用中は定期的にポンプとエンジンの目視検査を行ってください。ポンプやエンジンシールの周りの潤滑油漏れに気付いた場合は、すぐに高压洗浄機本体の使用を停止してください。弊社カスタマーサービスや専門のサービスセンターに問い合わせて修理してください。これを怠ると物的損害をもたらす恐れがあります。

## 使い方

エンジンを停止するには：

- オン/オフの切り替えスイッチを OFF (O) に入れてください。
- 燃料弁を閉位置に回します。

注：エンジンを停止しても、本体システムの圧力は抜けません。トリガーを引いて残留圧力を抜いてください。



**警告：**

本体の使用時、また保管中は、頭上を含む本体の四方に3フィート(約90cm)以上のスペースを空けてください。収納前には30分以上「クールダウン」の時間を設けてください。すべての身体の部分、衣類、可燃物、ホース、マフラー部分から離れたところに置いてください。マフラーや排気ガスによる熱は、重度の火傷、可燃物への引火、また/あるいは高圧ホースを損傷させ危険な高噴射によるケガにつながるほど高温になる恐れがあります。

トリガーガンを使用する

図12を参照。



**警告：**

両手でしっかりとトリガーガンを持ってください。トリガーを引くと反動でトリガーガンが動くことを想定してください。これを怠ると、制御を失いお客様ご自身と他の人のケガの原因となります。

- トリガーを引いて戻し、高圧洗浄を行います。
- トリガーを放して、ノズルからの水流を止めます。

ロックを掛けるには：

- ストッパーをカチッと音がしてスロットに収まるまで押し上げます。

ロックを解除するには：

- ストッパーを押し下げて元の位置に戻します。

ノズルを付けたまま洗浄対象面から1-2フィート(約30~60cm)離れたところから開始して、適度なレベルの洗浄ができる位置にゆっくりと表面部分に近づけます。噴射スプレーが近すぎると洗浄面を傷つける恐れがあります。

## ノズル選択ガイド

		0°	25°	40°	洗浄剤	高圧 (ノズル使用の場合は洗剤不要)			低圧 (軽めの洗浄用の洗剤使用)
		0° 赤	25° 緑	40° 白					青色洗浄ノズル
		↓	▼	▼					
コンクリート、レンガ、石造物		✓	✓	✓					✓
羽目板、排水溝、家屋			✓	✓					✓
フェンス、ベランダ、パティオ (中庭)			✓	✓					✓
芝刈り機、船艇、RV車			✓	✓					✓
		✓推奨ノズル		✓用途に適宜使用					

## 使い方

### 作業に適したノズルを選択する

図 13 を参照。

ノズルの各々は、異なる噴射パターンを有します。洗浄作業を始める前に、作業に最適なノズルを選択します。ノズル選択の詳細については、**ノズル選択ガイド**をご参照ください。



#### 警告：

必ずエンジンを停止、トリガーガンの水圧を抜き、トリガーガンのストッパーをロックしてから、ノズルを取り外してください。決してお客様自身の顔、または他の人の顔にノズルを向けないでください。ワンタッチ接続機能はある程度の力でノズルが飛び出す小さなスプリングがついています。これらの手順を怠ると、目の損傷またはその他の大ケガにつながる恐れがあります。

#### スプレー管にノズルを接続するには：

- 高圧洗浄機の電源をオフにして、給水を止めます。  
トリガーを引いて残留圧力を抜きます。
- トリガーガンのストッパーをスロットにカチッと収まるまで押し上げてトリガーガンをロックします。
- ワンタッチコネクタカラーを後ろに引き戻します。
- スプレー管の所定の位置にノズルを押し込みます。
- カラーを前方向に押し、ノズルがしっかりと固定するようにします。ノズルがしっかりと固定されているかを確認します。

#### 作業が終了後、スプレー管からノズルを取り外すには：

- 高圧洗浄機の電源をオフにして、給水を止めます。  
トリガーを引いて残留圧力を抜きます。
- トリガーガンのストッパーをスロットにカチッと収まるまで押し上げてトリガーガンをロックします。
- ワンタッチコネクタカラーを引き戻し、止めます。
- ワンタッチコネクタカラーからノズルを引き、外します。
- 本体のノズル収納箇所にノズルを戻します。

### 高圧ホースを使用する。



**警告：** 高圧噴射による危険。高圧ホースの使用前後及び使用中はホースを完全に解いてまっすぐにし、よじれがないようにします。高圧ホースはホースに強度を与える外装の特徴をしています。外装が破損した場合、すぐに使用を中止して取り換えてください。ホースのよじれまたは破損は高圧リークを起し、高圧噴射やその他の大ケガの原因となります。

#### 外装の損傷を防ぐには：

- 使用前にすべてのホースを点検します。
- 使用する前にはホースを完全にほどいてまっすぐにします。

- 高圧ホースによじれがないか確認します。
- ホースは高温表面部分や鋭利なエッジから離れたところに置きます。
- 本体ユニットを高圧ホースで引っ張らないでください。
- ホースがつぶれたり、何か物体に巻きついたりしないようしてください。

### 洗剤で洗浄する

図 14～15 を参照。

販売時点では、本体は「下流」圧力洗浄洗剤で使用するように設計されています。「上流」圧力洗浄洗剤使用に変換するには、詳細について専門のカスタマーサービスセンターにお問い合わせください。

#### 注意：

**高圧洗浄用の洗剤のみをご使用ください。** 家庭用洗剤、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、漂白剤、溶剤、可燃性物質または工業用グレード剤を使用しないでください。ポンプの損傷や物的損害の原因になります。洗剤の多くは使用前に混合が必要となります。液ボトル記載の指示に従い清浄液を用意します。必ず作業を開始する前に目立たない場所で試してください。

- 洗浄剤タンクのキャップを外し、高圧洗浄洗剤を注ぎます。タンクのキャップを戻して閉めます。

**注：** 本体ユニット用の設定は 20 : 1、これは通常、希釈せずに約 4L の圧力洗浄洗剤の使用が可能です。お客様の使用される洗剤の説明書で、追加希釈の必要がないかを確認してください。

- スプレー管に青色ソープノズルを取り付けます。
- トリガーを握り、洗剤が出てくるまで約 5 秒待ちます。
- 乾いた表面に洗浄剤を長く、さらに繰り返して上下にスプレーします。筋状になるのを防ぐため洗剤が表面で乾かないようにします。

#### エンジンを止める前に：

- きれいな水で洗浄剤タンクを満たします。
- タンクが空になるまでスプレー管を通してきれいな水をスプレーします。
- 洗剤がスプレー管に残っている場合はもう 1 度タンクにきれいな水でいっぱいにして繰り返します。
- エンジンを止めます。

**注：** エンジンを停止(OFF)しても本体システム内の圧力は抜けません。トリガーを引いて残留圧力を抜きます。

### 高圧洗浄機で洗い流す：

- 高圧洗浄機の電源をオフにして、給水を止めます。  
トリガーを引いて残留圧力を抜きます。
- トリガーガンのストッパーをスロットにカチッと収まるまで押し上げてトリガーガンをロックします。
- ソープノズルを取り外し、ノズルを収納箇所に戻します。

## 使い方

- 作業に適切なノズルを選択します。本説明書掲の表を参考に適切なノズルを選択してください。
- 洗浄対象の上の部分から始め、下へと洗浄し、上下繰り返して洗浄します。

### ポンプ保護剤を使用する

図 16 を参照。

市販のポンプ保護剤の定期的な使用は、しつこい水垢の除去、ポンプシールとピストンに潤滑剤をぬり凍結の防止をすることで高圧洗浄の使用寿命を長くします。使用后、本体を収納する前にポンプ保護剤を足してください。ポンプ保護剤は、本体を購入された販売店、あるいは弊社カスタマーサービスにお問い合わせでも購入できます。

以下はポンプ保護剤を追加する際の一般的な手順ですが、お客様がご使用のポンプ保護剤製造元提示の具体的な手順を確認する必要があります。

- 高圧洗浄機本体のエンジンをオフにして、給水を止めます。トリガーを引いて残留圧力を抜きます。
- 水道ホースと高圧ホースを外します。
- ポンプ保護剤ボトルのねじ込みキャップのトップをゆるめて、ボトルの紙シールをはがします。ボトルの上部に再装着し、しっかりと締めます。

注：ゴムシールは、ねじ込みキャップ上部の内側に残っています。それがはがれている場合は、再装着する前に交換してください

- ボトルのキャップを外し、ボトルねじ込み端をしっかりと高圧洗浄機のポンプの給水口に付けます。
- ボトルを絞り、ポンプ内に保護剤を注入します。
- オン/オフ切り替えスイッチをオフにして、スターターグリップとロープを引っ張り、ポンプを回転させます。そして、完全に保護剤が全体にいきわたるようにもう1度ボトルを絞ります。
- ポンプは保護剤の流体がポンプの出水口から出ると保護が完了です。

### 高圧洗浄機を移動する。

図 17 を参照

注：ハンドルを使用して本体を持ち上げたり、移動したりしないでください。車輪が直立している以外の体勢で本体を置かないでください。

- 高圧洗浄機の電源をオフにします。
- 安定するまで少し手前に本体を傾け、目的の位置まで本体を転がし移動します。移動時に前方または横に傾けないでください。
- これらのホースを引いて本体を移動しようとししないでください。

## メンテナンス

噴出制御機器及びシステムの通常の保守、交換または修理は、専門の修理業者あるいは個々のオリジナル部品または同等の製造元が行います。保証およびリコール修理は正規のサービスセンターが行います。詳細を弊社カスタマーサービスにお問い合わせください。



#### 警告：

本体の検査、清掃、または修理保守を行う前に、エンジンを切り、すべての可動部が停止するのを待って、スパークプラグワイヤーを外してスパークプラグから抜いてください。これらを怠ると大ケガや物的損害の原因となります。



#### 警告：

常にANSI Z87.1規格のサイドシールド付の安全ゴーグルを着用してください。これを怠ると、何か物体が飛び散り目の中に入る大ケガの原因となります。



#### 警告：

修理する場合は、推奨または同等の交換部品のみを使用してください。それ以外の部品の使用は危険を生じ、または製品損傷の原因となります。

#### 注意：

本体は、スパーク（火花）防止装置が装備されていますので、米国内の森林地区では使用することはできません。さらに、本体製品の使用者は、連邦法、州法並びに居住地域の火災予防条例を遵守しなければなりません。適切な関連機関にお問い合わせください。メンテナンスや交換部品に関しては付属のエンジンマニュアルをご参照ください。

## メンテナンス

### 注意：

定期的に機体全体を検査し、破損、不足またはねじ、ナット、ボルト、キャップなどに緩みがないかを確認してください。すべての留め具とキャップをしっかりと締めて、不足部品や破損箇所を補充、交換するまで本製品を操作しないでください。弊社カスタマーサービスもしくは専門のサービスセンターにご相談ください。

### 一般的なメンテナンス

プラスチックの部分を洗浄する際は溶剤を使用しないでください。ほとんどのプラスチック材が様々なタイプの市販溶剤の使用による損傷を受けやすくなっています。きれいな布で汚れ、ほこり、油、グリース等を取り除いてください。



### 警告：

いかなるときも、ブレーキ液、ガソリン、石油製品、浸透油などがプラスチックの部分に付かないように注意してください。化学薬品はプラスチックを劣化、破損し大ケガの原因となります

エンジンをかける前に、次の事前操作を行ってください。  
手順：

- すべてのボルト、ナットは、しっかりと締めつけ固定されているかを確認します。
- エアフィルターがきれいになっているかを確認します。
- エンジンオイル量レベルと燃料タンクレベルの両方を確認します;必要に応じて補充します。
- 作業エリアに危険物がないかを確認します。
- 過度な騒音や振動がある場合は、すぐに本体ユニットを停止します。

### ノズルの管理

図18を参照。

過度のポンプ圧（トリガーを握ったときにパルス振動を感じる場合）はノズルの目詰まりか汚れによる可能性があります。

- 高圧洗浄機を電源オフにし、給水を止めます。トリガーを引いて残留圧力を抜きます。
- スプレー管からノズルを外します。



### 警告：

必ず先にエンジンを停止、トリガーガンの水圧を抜き、トリガーガンのストッパーをロックしてから、ノズルを取り外してください。お客様の顔、または他の人の顔にノズルを向けないでください。ワンタッチコネク機能はある程度の方でノズルが飛び出す小さなスプリングがついています。怠ると、目の損傷またはその他の大ケガにつながる恐れがあります。

- ノズルの目詰まりまたは異物を取り除くには、ゴミを吹いて飛ばすか、まっすぐにしたペーパーリップや細い針で除去してください。
- 水道ホースを使い、逆流してノズルからゴミを流し出します。（逆方向に水をノズルに通すか、または外側から内側へ流す）。
- スプレー管にノズルを再度取り付けます。
- 給水し、エンジンを始動します。

### エアフィルターの洗浄/交換

図19を参照。

エアフィルターの汚れは、作業開始のトラブル、性能不良、エンジン寿命低下の原因となります。エアフィルター毎月点検してください。最高の性能状態で使用するには、最低、年に1度エアフィルターを交換してください。

- エアフィルターのつまみを回し、エアフィルターカバーを取り外します。
- 慎重にエアフィルターの端を持ち上げて、引き出します。
- 温い石鹼水でエアフィルターを洗浄します。
- すすぎ、絞り、乾燥させます。
- エアフィルターを取り付けます。

注：フィルターが内部に適切に収まっているか確認してください。誤ったフィルターのとり付け方をするとエンジンに汚れが入り、エンジン損耗が早くなる原因になります。

- エアフィルターカバーを取り付けます。

### スパークプラグの点検

図20を参照。

- エンジンに汚れやゴミが入り込まないように、取り外す前にスパークプラグのベース周辺を清掃します。スパークプラグを取り外します。
- プラグクリーナーやワイヤブラシを使用してスパークプラグ電極上の炭素堆積物をきれいに取り除きます。摩耗や、再使用に問題がある場合はプラグを交換してください。本説明書の前項記載の製品仕様、または必要に応じて付随するエンジンマニュアルをご参照ください。
- 電極ギャップを確認してください。ギャップは 0.028 インチ～0.032 インチ（0.7～0.8mm）となります。必要に応じ、注意して接地電極を曲げ、ギャップを調節してください。
- スパークプラグを取り付けます。しっかりと固定します。

### エンジンオイルを交換する

図21を参照。

- エンジンを停止します。
- オイルフィルターキャップ/オイルゲージの周辺をきれいにし、オイルフィルターキャップ/オイルゲージを取り外します。  
注：エンジンオイルがより簡単に早く流れるようにオイルゲージを取り出してください。
- エンジンからスパークプラグワイヤーを外してください。

## メンテナンス

- 表示のように、側面に高圧洗浄機を傾けます。エンジンオイルを適切な容器に流し入れます。

注：エンジンがまだ暖かいうちに（しかし、熱くはなく）、エンジンオイルを流し出してしてください。温かいエンジンオイルのほうが、より早く完全に流れ出ます。



### 警告：

エンジンが熱い間はエンジンオイルを交換しないでください。熱いエンジンオイルとの不慮の接触は深刻な火傷の原因となります。

- クランクケースが完全に空になったら、高圧洗浄機を直立位置に戻します。
- 本説明書記載の**エンジンオイルの補充/点検**の手順に従い、エンジンオイルの補充をしてください。補充量については、本説明書の**製品仕様**または添付エンジンマニュアルをご参照ください。
- 高圧洗浄機を使用する前に、エンジンからエンジンオイルが漏れていないかを確認してください。

注：お客様の居住地域の有害廃棄物管理のガイドラインに従い、使用済みエンジンオイルを適切に処分してください。

### ポンプの保守点検

定期的にポンプの目視検査を行います。ポンプオイルシールの周りの潤滑剤の漏れがあった場合は、専門のサービスセンターまで高圧洗浄機をお運びいただき、修理してください。

本体高圧洗浄機には使用者が修理できる部品はありません。ポンプを修理または改造しようとするとは破損することがあり、お客様への製品保証が無効となります。

### 高圧洗浄機を収納する。

図22を参照。

注：燃料安定剤とポンプ保護剤を常時使用することで本体製品の最良の性能が得られ、ポンプ寿命も長くなります。



### 警告：

本機を保管する際、頭上を含む本体の四方を3フィート（約90cm）以上空けてください。収納前には30分以上「クールダウン」の時間を設けてください。すべての身体部分、衣類、可燃物やホースはマフラー部分が接触しないように離してください。マフラーや排気ガスによる熱は、重度の火傷、可燃物への引火、また/あるいは高圧ホースを損傷させ危険な高噴射によるケガにつながるほど高温になる恐れがあります。

天候の影響を受けないように乾いた、屋根付の場所に保管してください。

特に霜の影響がないところに本製品を保管することが重要です。常にすべてのホースの水を抜き、ポンプ、ポンプや洗浄剤タンクを空にしてから収納してください。

- ガソリンがなくなるまで高圧洗浄機を稼働させ燃料タンクを空にします。保管中、燃料は30日ほどで古くなります。

注：高圧洗浄機のエンジンが作動中は給水口と接続されて水が出ていることを確認してください。

- オン/オフ切換えスイッチがOFF（O）の位置で、燃料弁がCLOSED（閉）となっているかを確認します。
- 高圧ホースと水道ホースの両方をポンプから外します
- スターターグリップとロープを6回ほど引いてポンプを空にします。液体の大部分をポンプから除去できません。

### 注意：

本機使用後及び収納の際には防寒目的と保管中のシール破損を防止するため、ポンプ保護剤の使用が必要です。ポンプ保護剤を使用しない場合は保証が無効となります。

- 本説明書の操作方法の**エンジンオイルの補充・点検**の説明のようにエンジンオイルを流し出し、新鮮できれいなエンジンオイルと交換してください
- スパークプラグワイヤーを外し、スパークプラグを抜きます。小さじ1杯ほどの、きれいな空冷4サイクル用潤滑油をスパークプラグ穴から燃焼室に注ぎます。
- スパークプラグを開けたまま、スターターグリップとロープを2,3回引っ張り、シリンダー壁の内側をコーティングします。
- スパークプラグを点検し、きれいにし、または必要に応じて交換します。
- スパークプラグをもう1度取り付けます、このときはスパークプラグワイヤーを外します。
- エアフィルターを清掃してください。
- スターターグリップとロープを伸ばしてその状態を確認します。ロープが擦り切れている場合は、すぐに専門のサービスセンターで交換してください。
- すべてのホースを外します。表示のようにホースを巻いて収納します。ホースがよじれしないようにしてください。
- 本体ユニットおよびその付属品を凍結温度以下の場所で保管します。また、ポンプシールが乾いてしまう暖炉の傍や他の熱源の近くに保管しないでください。

### 保管後の再使用準備

- スターターグリップとロープグリップ3~4回引いて燃焼室の油を抜きます。
- シリンダーからスパークプラグを取り外します。スパークプラグの潤滑油を拭きとりシリンダーに戻します。
- スパークプラグワイヤーを再接続します。
- 本取扱説明書の手順に従い機体に燃料を補充します。

## メンテナンス

### 定期点検計画

点検項目 提示月ごとまたは使用時間毎 のいずれか早いほうで行う。	各使用前	使用後の 最初の月 または 使用時間 が5時間	3ヶ月ごと または 使用時間 25 時間経過	6ヶ月ごと または 使用時間 50 時間	1年毎 または 100時間	2年毎 または 250時間
エンジンオイルの確認と補充	●					
エンジンオイルの交換*		●		●		
エアフィルターの確認	●					
エアフィルターの洗浄			●			
エアフィルターの交換						●
スパークプラグの確認と調整					●	
スパークプラグの交換						●

\* 高負荷時や高周囲温度で使用した場合、エンジンオイルを 25 時間使用ごとと交換してください。安全かつ責任を持って廃棄物のエンジンオイルを処分してください。下水排水溝、庭の土の上または水路にかけないでください。お客様のお住まいの地域の環境規制条例がより詳細かつ適切な処理方法を提示しています。

ここに記載されていない点検項目は、専門のサービスセンターで行って下さい。オンラインでの交換部品一覧をご覧になるか、ご購入される部品番号について弊社カスタマーサービスまでお問い合わせください。



## トラブルシューティング

このような時	原因	対処法
エンジンスタート不良	燃料切れ スパーク(点火)プラグが短絡、または汚れている。 スパークプラグの破損 (ひび割れ磁器または電極が壊れている) 点火リード線短絡、破損、またはスパークプラグから切断 点火動作不能 間違ったチョークレバー設置 エンジンの冠水	燃料を補充してください スパークプラグを交換してください スパークプラグを交換してください。 銅線を交換、またはスパークプラグに付けてください。 専門のサービス・センターにお問い合わせください チョークレバーをSTART(開始)位置に移動し冷機起動をかけてください。エンジンが暖かい場合は、チョークレバーをRUN(運転)の位置に移動してください。 チョークレバーをRUN(運転)の位置に移動して、スターターグリップとロープをエンジンが始動するまで引いてください。
エンジンがかかりにくい	ガソリン内に水が混入 スパークプラグから火花が出ない	全て流し捨て、燃料を新しく入れ替えてください。 専門のサービスセンターにお問い合わせください。
エンジンにパワーがない	エアフィルターの汚れ	エアフィルターを洗浄、または交換してください。
洗浄剤がスプレーと混ざらない。溶け合わない	高圧ノズルが装着 洗浄剤タンクが空	青色ソーブノズルを使用して、洗剤を含ませてください。 洗浄剤タンクに洗浄剤を補充してください。
ポンプからの圧力がない	低圧ノズルが装着 不十分な給水 トリガーガンやスプレー管の漏れ ノズルの目詰まり ライン内の空気 ホースの水漏れ ホースのよじれ ポンプの欠陥	高圧ノズルと交換してください 適切な水流にしてください。 接続を確認し、および/またはトリガーガンまたはスプレー管を交換してください。 ノズルを洗浄してください。 トリガーガンのトリガーガンを握り、ラインから空気を抜いてください。 ホースを交換してください。 ホースのよじれを解いてください。 専門のサービスセンターにお問い合わせください。
本体の高圧機能を発揮しない	水道ホースの直径が小さすぎる。 給水が不十分 取水が不十分 間違ったノズルが取り付けられている。	水道ホースを3/4インチと交換してください。 水道ホースにねじれ、漏れ、閉塞物がないかを確認してください。 水道の蛇口を全開にしてください。 高圧用ノズルを取り付けてください。

それでも解決しない場合は、弊社カスタマーサービスまたは専門のサービスセンターにお問い合わせください。

### 注意：

本機の所有者として、お客様は本書のメンテナンスにて説明されているように、必要なお手入れの責任を負っています。お客様の所有製品のメンテナンスを対象とするすべての手順をご留意されることをお勧めします。必要な手順を無視、あるいは怠った場合には、排出量を増加、燃料効率の低下、性能の低下、回復不可能なエンジン損傷の原因となり、及び/またはお客様の製品保証が無効になる場合があります。

## 製品保証書

### エンジン部分を除く限定条件付き保証書

OWT Industries 社、(以下、弊社)は、お買い上げいただいたパワーストローク (Power Stroke) 製品が、材料および製造上の不具合がないことを保証し、不具合が起きた場合は、お買い上げいただいた日付から以下の期間内に、弊社の裁量により、無料で修理または交換することに合意します。

#### 保証期間

- 2年間：製品が、個人、家族、または家庭用にのみ使用されている場合。
- 1年間：製品が、ビジネスや商業的用途で使用されている場合。

この保証は、米国、ワシントンDC、カナダ、メキシコ、プエルトリコ自治連邦区、バージン諸島、グアム連邦地域にて販売された製品にのみ適用されます。

この保証書は譲渡不可であり、材料や製造上の欠陥以外に起因する損害、あるいは合理的かつ必要なメンテナンスを行わなかったことを含む、不当な使用により生じた損害は保証の対象ではありません。

その他の保証できない事項は以下のとおりです。

- 保証サービスのために弊社または弊社認定の修理サービス担当業者に製品を送る場合の送料、または修理済み製品及び交換製品を元のお買い上げのお客様に送り届ける送料；これらの費用は元の販売店の負担となります。
- 乱用、事故、誤用、怠慢、改造、腐食、浸食、通常の損耗あるいは弊社または弊社認定のサービス担当者以外による修理の影響に起因する損害。
- さらに以下の項目も保証の対象外です：
  - ・ 調整 - スパークプラグ、キャブレター、キャブレター調整、点火装置、フィルター、オイル交換
  - ・ 消耗品 - リコイルスターターロープ、エンジンブラシ、コッタピン、車輪

お客様が製品取扱説明書に規定されている弊社提示の手順および推奨手順に従って製品を取り付け、保守、使用しない場合、または製品がレンタル機器として使用されている場合、保証は無効となります。

弊社は、製品の修理や調整経費、または弊社の事前の許可なしに行われたいかなる費用及び労力に対して負担いたしません。

### お買い上げレシートを保管してください

製品の購入日付入りレシート、レジスリップ等の製品の購入を証明するものが、弊社、および/または正規サービス担当者が製品の保証サービスを行う際に必要となります。

### 例外および制限規定

この限定付保証は、他の明示の保証全てに代わるものです。商品性、特定目的への適合性又はその他本製品の適用に関するいかなる黙示の保証は、この限定付き保証の期間に限定されます。

上記の保証サービスは、本保証の下、唯一の法的救済となります。弊社は、特別、付随的または間接的な損害に対してのいかなる責任も負いません。

一部の州では、黙示的な保証の期間、または付随的、または間接的損害における例外または制限規定が認められていないため、上記の制限規定または例外規定がお客様に適用されない場合があります。

### 保証サービスのご利用方法

保証サービスの場合：フリーダイヤル 1-877-617-3501、または OWT Industries, INC. P.O. Box 35, Highway 8, Pickens, SC 29671 までご連絡ください。

米国以外の地域の保証サービスについては、お近くのパワーストローク (Power Stroke) 製品販売店にお問い合わせください。

**POWER  
STROKE™**

**2700 PSI 高圧洗浄機  
PS80947J**

## パワーストローク高圧洗浄機 取扱説明書

### カリフォルニア州法 第 65 項



**警告：**

本機、その排気、及び使用中に空気中に浮揚するその他の物質は、米国カリフォルニア州が知るところの癌、出生異常、または他の生殖への危害の原因となる鉛などの化学物質を含んでいる場合があります。**取扱い後はよく手を洗ってください。**

### アフターサービス

部品や修理に関しては、お近くの販売店までご連絡ください。お電話またはご訪問の際には関連情報をご提供ください。ご相談は 1-877-617-3501 までご連絡ください。

### 補修部品：

本製品の商品、製造、およびシリアル番号は、機器ケースに取り付けられたプレートまたはラベルに記載されております。これらの番号を下欄にメモしておかれますと、サービスを依頼されるときに便利です。

製品番号： \_\_\_\_\_

製造番号： \_\_\_\_\_

シリアル番号： \_\_\_\_\_

**OWT Industries, INC.**

P.O. Box 35, Highway 8

Pickens, SC 29671 USA

1-877-617-3501

[www.powerstroketools.com](http://www.powerstroketools.com)

991000592

5-14-15 (改訂:01)